

コード	40302021
記入日	H26.5.16

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	峯 幸生

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	特産品ブランド化支援推進事業補助事業
----------	--------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7
施策コード	403	施策名称	商工業の振興	項コード	1
基本事業コード	40302	基本事業名称	特産品の開発	目コード	3
事務事業コード	4030202	事務事業名称	まちづくり基金（合併特例基金）事業	細目コード	1367
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町特産品ブランド化支援事業補助金交付要綱		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 特産品製造販売業者数		(対象指標1) 74業者 (H24町内物産流通調査業者数)				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・特産品のブランド化を推進し、情報価値を高めることを目的としたパッケージデザイン等の制作費を助成する。 →特産品のパッケージと販売促進ツール制作費を助成 (補助率1/2、上限50万円)	(平成25年度) ・ブランド化に必要な不可欠なパッケージ製作に対し助成を行った。 →新商品 2件 →改良商品 2件	補助金交付件数	4件	33.3%	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	平成27年度
		補助金交付件数	4件	100%		平成25年度
		① (達成率分析)	申請内容を確認し、申請者全てに交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		特産品の販路拡大と知名度の向上	-	-	-	平成27年度
		① (達成率分析)	新上五島町の特産品のブランド化が推進され、販路拡大と知名度の向上が図られる。			
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	件	12	4	4	4	4	4		
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	10,200	2,447		3,400	2,447	3,400	3,400		
直接事業費 A	千円	6,000	1,047		2,000	1,047	2,000	2,000		
人件費 B	千円	4,200	1,400		1,400	1,400	1,400	1,400		
内	従事職員数	人	0.6	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
訳	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	6,000	1,047		2,000	1,047	2,000	2,000	
	その他	千円								
訳	一般財源	千円	4,200	1,400		1,400	1,400	1,400		

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	国内需要に対して商品数は飽和状態にあり、その中で消費者ニーズに対応しながら競合する産地及び商品と差別化をするためにも商品の改良が必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	商品を開発したことによる積極的な物産展への出展や大手流通と取り組むことにより売上増につながっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	新たな商品開発やパッケージ改良を継続していくことにより特産品数及び生産額の増加を期待できる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	人件費単価（高い）と実際の給与が乖離しすぎているため十分見合った活動結果である。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	補助率1/2を下げると申請数が減少し、商品数及び生産額増加につながらない。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	商品のブランド化に必要な商品自体の価値を上げる努力を企業側に求める必要がある。

2次評価	島外での販路拡大等を行う町内事業者に対してパッケージや販売促進ツールの制作を支援することは本町の産業振興や雇用の拡大を図るため必要である。事業者に対し商品価値を上げる努力を含め、商品のブランド化に必要なパッケージ、販売促進ツールなど、ビジネス展開が可能となるように支援をしていくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。